

高速処理で事務負担を軽減。 2画面活用とデータ共有で意思決定を加速

【法人名】ネクスタス株式会社
【事業所名】ネクステクノリンクスはるえ
【提供サービス】特定相談・障害児相談

導入機器等の内容

ノートパソコン	7台
モニター	7台
ワイヤレス周辺機器	一式

導入の理由（抱えていた課題）

- ・複雑な書類作成による高負荷：サービス等利用計画やモニタリング報告書は参照すべき資料が多く、旧型PCの処理待ちや画面の狭さが、作業効率を著しく低下させていた。
- ・情報共有のタイムラグ：データのやり取りや管理者への報告に手間がかかり、現場で起きた課題への組織的な対応に遅れが生じる懸念があった。
- ・心理的ハードルの増大：システムの動作不良や確認作業の煩雑さが職員の焦燥感を呼び、緻密さが求められる計画作成業務において精神的な負担となっていた。

高速処理で事務負担を軽減。
2画面活用とデータ共有で意思決定を加速

【法人名】ネクスタス株式会社
【事業所名】ネクステクノリンクスはるえ
【提供サービス】特定相談・障害児相談

導入の効果

- ・思考の中断がない「精神的ゆとり」：PCの処理待ちによる業務中断がゼロになり、思考を止めることなく計画案の作成に没頭できるようになったことで、職員の焦燥感が大幅に緩和された。
- ・確認作業の心理的ハードル低下：27インチの大画面に複数の資料を並べて比較検討できるため、情報の整合性チェックが容易になり、正確な書類作成が可能となった。
- ・組織的なバックアップ体制の強化：管理者への報告が遅滞なく行えるようになり、現場の課題に対して組織が即座に動けるスピード感のある支援体制が構築された。

⇒ 「ICT導入により、対象業務の年間総時間を18.0%削減（53.3h → 43.7h）」

高速処理で事務負担を軽減。 2画面活用とデータ共有で意思決定を加速

【法人名】ネクスタス株式会社
【事業所名】ネクステクノリンクスはるえ
【提供サービス】特定相談・障害児相談

導入の進め方

職員会議にて、日々の業務の中で「どこに時間がかかっているか」「何がストレスか」をヒアリングし、課題を整理。

〈工夫した点〉

- ・第13世代Core i5搭載PCを選定し、システム起動やデータ処理の停滞を解消。ハード面から業務ストレスを根本的に排除。
- ・27インチの大画面モニターを併用。1画面での「切り替え作業」を廃止し、広い作業スペースを確保。視認性の向上により、確認漏れを防ぐ環境を整備した。

職員の声

「仕事のテンポが劇的に良くなった」

以前は小さな画面で資料をめくりながら確認していましたが、今は2画面で確認できる。確認作業が楽になり、自信を持って計画を提出することができる。

「相談支援に集中できる環境」

管理者への報告や共有がスムーズになり、一人で抱え込む不安が減った。組織のバックアップを実感しながら、利用者様の支援に集中できている。